

学校だより

令和7年(2025年)
9月12日 第10号

みどりっ子

〈よい子 強い子 みどりの子〉

伊丹市立緑丘小学校
校長 村上 大介

☆令和7年度全国学力・学習状況調査結果について

4月17日(木)に実施された「全国学力・学習状況調査」(6年生対象)の結果が公表されましたので、本校の結果の傾向についてお知らせいたします。

この調査で測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面ですが、1年生から6年生までの積み重ねが「学力」および「生きる力」の向上につながっています。どの学年にも通じる内容としてご一読ください。

1 調査内容

(1) 学力に関する調査【国語・算数・理科それぞれ45分】

①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等にかかわる内容

(2) 学習状況に関する調査【児童質問紙】

小学校第6学年の児童対象の、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

2 調査結果

(1) 学力に関する調査結果について

①【国語】の正答率は、全国平均および兵庫県平均を上回りました。

・個別に見ると知識及び技能の「言葉の特徴や使い方に関する事項」が特に優れていました。また、問題形式で見ると、選択式、短答式、記述式の3つに分けられますが、どの問題も全国平均を上回っています。これまで行ってきた「話すこと・聞くこと・書くこと」を大切に学習の取り組みの成果であると考えます。

②【算数】の正答率は、全国平均および兵庫県平均を上回りました。

・個別に見ると「数と計算」「測定」「変化と関係」「データの活用」は全国平均を上回っていますが、「図形」に少し課題が見られました。また、国語と同様に、問題形式で見ると、選択式、短答式、記述式の3つに分けられますが、どの問題も全国平均を上回っています。

③【理科】の正答率は、全国平均および兵庫県平均を若干下回りましたが、伊丹市平均とは同じでした。

・個別に見ると「粒子」を柱とする領域と「地球」を柱とする領域は全国平均を上回っていますが、「エネルギー」を柱とする領域と「生命」を柱とする領域は下回っています。

(2) 学習状況に関する調査結果について

①肯定的な回答が、全国平均よりも上回っている主な項目

・「朝食を毎日食べていますか」

・「将来の夢や目標を持っていますか」

・「人が困っているときは、進んで助けていますか」

・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」

・「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」

・「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」

・「友だち関係に満足していますか」

・「読書は好きですか」

・「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」

・「算数の勉強は好きですか」

②肯定的な回答が、全国平均よりも下回っている主な項目

- ・「毎日同じくらいの時間に寝ていますか」
- ・「自分にはよいところがあると思いますか」
- ・「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」
- ・「学校に行くのは楽しいと思いますか」
- ・「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか」
- ・「国語の勉強は好きですか」
- ・「理科の勉強は好きですか」

「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「友だち関係に満足していますか」の質問にほぼ全員近くが肯定的でした。その一方で、「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の質問で、肯定的な意見が、兵庫県よりは上回っていますが、全国よりは若干下回っています。今後、これまで以上に丁寧に、どの子どもたちも見守り、支援していく体制づくりが必要と認識しています。

学習面においては、「国語」「算数」「理科」とともに、「授業の内容はよくわかりますか」の質問の肯定的回答がすべて全国よりも上回っていました。今後、今の勉強が将来社会に役立つものであり、普段の生活とつながっていることを実感できるような工夫が必要だと感じました。

3 今後の取り組み（今までの継続も含めます）

（1）学校において

①書くことの習慣を身につける

- ・授業の終わりに、振り返りを書く時間を設け、どの教科においても日常的に書くことを大切にした学習を習慣づけていきます。

②読書好きにする

- ・昨年度から月ごとに、たくさん本を読んだ子どもを表彰する取り組みを始めています。これからも本を読むことの価値を高め、読書に目が向くようにしていきます。

③朝のモジュール学習の充実

- ・月曜から金曜までの毎朝、8:35～8:45は、モジュール学習を行っています。算数または国語の授業としての学習と、週に一日は読書タイムとして、学年で計画的に実施し、スキルアップを図ります。

④「ことばの学習」の時間の充実

- ・国語の文法学習の時間として、本校独自の「ことばの学習」を実施しています。3年生～6年生を対象として週1時間実施し、ワークシートを活用しながら、言語事項の定着を図っていきます。

⑤チャレンジ教室の充実（放課後学習）

- ・5・6年生の希望者を対象に、水曜日の放課後に実施しています。プリント学習を中心として、漢字学習や文章の要約に関する問題を取り入れ、苦手内容の克服をめざしていきます。

（2）家庭において（それぞれの児童に合わせてできる範囲でお願いします。）

①毎日、勉強する時間帯を決め、決まった時間に机に向かう。

②テレビを消し、ゲーム機はしまい、スマホは触らない。

③家族も一緒に読書したり、共通の話題で会話したりするなど、学習環境を整える。

④家庭での学習時間の目安を示し、毎日続ける。

1・2年生：30分、 3・4年生：60分、 5・6年生：60分＋α

生活面においては、「朝食を毎日食べていますか」が全国平均を上回っています。保護者の方々が、お忙しい中、朝食の準備をし、学校へ送り出してくださっていることがこの結果からわかります。また、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問はほぼ全員が肯定的意見でした。「人の役に立ちたい」と思えるのは、保護者の方々の声かけが大きいと思います。ありがとうございます。

この調査の結果はあくまで、「一側面」ですが、継続する部分と今後取り組んでいく部分を検討しながら、保護者の方々・地域の方々・学校運営協議会の方々と、よく話し合いながら進めていきたいと思っています。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。